

令和4年度 行政評価表

担当課	議会事務局
章名	第5章_共につくる_未来につながるまち
節名	第3節_経営的視点に立った行政運営
施策名	1-効率性の高い行政運営

施策の内容	目指す姿	安定した自治体経営ができる行政運営の仕組みが整い、あわせて質の高い行政サービスが提供されています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● マイナンバーカードの普及率の向上に向けて、住民票や印鑑証明書等のコンビニ交付サービスの促進のほか、独自利用に向けた検討を行い、町民の利便性の向上を図ります。 ● 窓口業務・発行事務等は職員の事務負担が大きいため、AI(人工知能)やRPA(ソフトウェア・ロボットによる業務自動化)の導入に取組み、職員の負担軽減・事務量の削減を図ります。 ● 文書の電子化、ペーパーレス化に向けた調査・研究に取組みます。 ● 多様化する行政ニーズに対応するため、引き続き前年度の行政評価を伊奈町ホームページで公開し、厳しい財政状況の中、一層の事務事業の見直しとともに、より経営的視点を持った行政運営に努めます。 ● 今後も時代に適した内容の各種研修を引き続き実施するなど、幅広い研修機会を設けることにより、サービスの質の向上を図ります。 ● 行政組織のあり方や職員数等については、中長期的な視点を持って検討していきます。 ● 人口減少時代においても安定した住民サービスを提供していくために、近隣市との連携協議等を積極的に進めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)		
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)				
	(2)				
	(3)				
	(4)				

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	10,581	8,751	0	0	0	8,751

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、規模を縮小して様々な議員研修や先進地の視察など、政策研究を積極的に行った。議会広報委員会では議会報告会を3年ぶりに開催した。また、SNSを活用し情報発信を積極的に行い、開かれた議会及び町民参加を推進する議会を目指している。また、わかりやすく興味を持ってもらえるような広報紙を作成できるように研鑽した。 ・議場などに感染症拡大防止のため、アクリルパーティションを設置し、安心して議会運営が行えるように取り組んだ。 ・タブレット端末を活用した議会運営を導入したことで、議会のペーパーレス化が進み、印刷業務の減少などによる業務の効率化が図られた。 	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	・平成25年3月に伊奈町議会基本条例の制定を契機として、議会改革の取り組みが進められ、議員個人の意識改革も求められている。
	住民ニーズの変化について	・住民がより参加しやすくなるように、休日及び夜間に議会を開催することや、情報発信の多様化等、より開かれた議会が望まれてきている。
	展開した事業は適切であったか	・タブレット端末を導入したことにより、ペーパーレス化が図られ、議会改革に向けた議会運営に寄与することができ、適切であった。
	施策を達成するうえでの障害について	・音響施設の改修やIT化による傍聴環境の整備等を行うには施設の老朽化が問題である。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、議会基本条例に基づく議会運営の改革を推進していくため質問席の新設や執行部席の個別マイクが必要となる。また、議場の音響設備の改修については、喫緊の課題である。さらに、インターネットを活用した本会議の映像配信や議会のタブレット端末の円滑な運用による業務の効率化について推進する。
---------------------	---

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた議会を目指し町民の関心や理解を得るため、議会だよりの発行や議会報告会を開催している。
----------------------	---